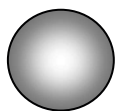


## 4 章 都市づくりの目標

将来都市像の実現にむけて、以下の具体的な目標を定め、各種都市基盤施設等の整備を推進します。

1. 誰もが安心して過ごせる都市
2. 文化・学習活動が盛んな都市
3. 自然や農村と調和した都市
4. 産業を大切にした都市
5. 都市づくりと町民活動の融和した都市



## 1. 誰もが安心して過ごせる都市

### (1) 太陽の丘を中心とした福祉拠点の形成

太陽の丘には、介護老人保健施設、国民健康保険病院、総合ケアセンター等の福祉医療施設が集積しているほか、パークゴルフ場等の運動施設が整備されています。

本別町では、この太陽の丘を“福祉と健康の拠点”として町民が“安心して住むことができる拠点となる地区”として位置づけています。

現在、野球場等の運動施設も充実させ、町民が安心して利用できるような環境づくりや※新エネルギーの導入等、環境にやさしいまちづくりを進めています。

また、太陽の丘と隣接している文教地区との連携を深め、文教地区の子供達が太陽の丘の運動施設を利用しやすい環境にしていくとともに、子供達と高齢者が交流できる空間とし、町民がいきがいをもって過ごすことができるようなまちづくりを進めます。

### (2) 子供や高齢者・障害者が安心して歩ける都市づくり

少子高齢化に対応し、通学者や車での移動手段のない高齢者・障害者等の歩行者に配慮した都市づくりを進めます。

主な通学路や高齢者・障害者が頻繁に使用する商店街及び公共施設周辺における道路については、両側歩道整備を推進するなど安全な歩行者※ネットワークの形成を図ります。

高齢者・障害者に対しては、特に中心市街地や中心市街地へのアクセス道路において積極的に歩行者に配慮した歩道の整備を推進します。特に、国道 242 号、銀河通り、公共施設と商店街を結ぶ町道の歩道幅員の確保や段差の解消等を推進し、歩行者の安全性の確保を図ります。

また通学者に対しては、中央橋通り、本別西通の愛のかけはしの区間等、小学校や中学校の周辺の道路における両側歩道の確保等を推進します。

さらに、既存の公共施設については、段差の解消やエレベーターの設置等を行い 高齢者・障害者が使いやすい施設整備にしています。

---

新エネルギー	: 自然の力を利用したり、今まで使われずに捨てていたエネルギーを有効に使ったりする地球にやさしいエネルギー
シルバーハウジング	: 高齢者が地域の中で自立し、安全かつ快適な生活を続けられるよう、その住宅生活を支援するために必要な保健・医療及び福祉サービス緊急通報システム等が一体的に整備された住宅のこと
ネットワーク	: 網状のもの。連絡情報網のこと

### （３）自動車利用者にとっても安心な都市づくり

本町においては、身近な日常生活においても車を交通手段としている町民が多いことから、車利用者が安心して運転できるような都市づくりをめざします。

現在の道路の中で危険性が高いと考えられる国道 242 号と本別西通の交差点、停車場通と中央橋通の交差点、栄橋通と国道 242 号等の交差点や危険個所については、交差点を広くしたり、信号のない交差点には信号の設置等を推進するなど、安全な視界と空間の確保を図ります。

### （４）安心して過ごせる快適な住宅地づくり

今後の住宅地については、緑豊かな低層住宅を中心とした、騒音や災害等の心配がない安心して過ごせる快適な住宅地づくりを地域防災計画との連携を図りながら、めざします。

また、魅力ある住宅地の形成を推進する上で、北海道が推進している「北の住まいるタウン」の基本的な考えを踏まえながら、未利用地の有効活用や公営住宅の魅力向上を図ります。

### （５）安心できる防災対策の推進

自助・共助・公助の連携と協働の必要性を理解し、防災意識の高揚を図るため、防災訓練や講習会等を開催します。また、災害時における避難情報などを適時発信します。

自治会等の助け合い活動により、要援護者等の避難支援体制を整えます。





災害時における初動体制を確立し、被害の防止、災害の拡大を抑制するための取り組みを強めます。

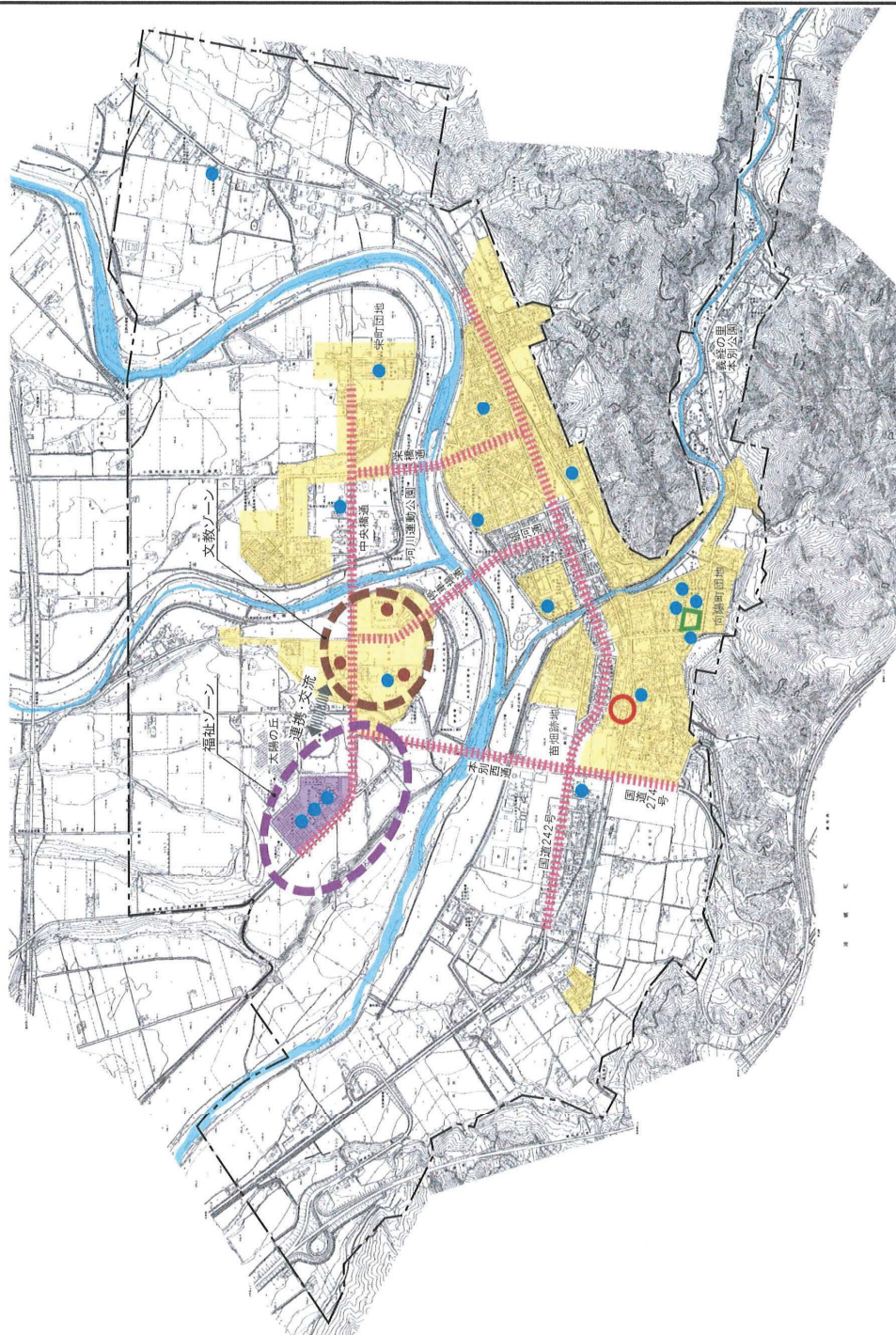
あらゆる緊急事態の発生時において適切な対応をとるため、危機管理体制を整えます。土砂災害特別警戒区域に指定されている地区については、地域防災計画に基づき、住民等の誘導および災害の防止に努めます。

# 本別町都市計画 マスタープラン

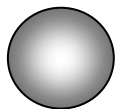
誰もが安心して  
過ごせる都市

凡 例

-  都市計画区域
-  安全な歩行者ネットワークの形成
-  危険箇所の解消(交差点)
-  住宅系土地利用
-  主な文教施設
-  主な社会福祉施設







## 2. 文化・学習活動が盛んな都市

### (1) 文化の拠点づくり

周辺の市町村をみると、陸別町では天文台、足寄町では化石博物館が有名です。本別町については歴史民俗資料館が一つの特徴となっていることから、本別、陸別、足寄3町の中の資料館として充実することをめざします。

そのためには、短期的には現在の資料館の位置がわかりやすい案内板の設置等、多くの人が訪問しやすいような工夫を行います。

資料館の内容については、陸別町や足寄町の資料も活用するほか、家庭、公共等で利用されなくなった価値ある物品を活用することなども検討します。

### (2) スポーツの拠点づくり

太陽の丘では、パークゴルフ場・野球場・テニスコート等を整備しており、運動公園としての機能を充実していきます。

また、隣接した文教地区の小学校、中学校、高等学校の生徒が運動公園を利用しやすいような工夫を検討するとともに、地域の高齢者等様々な人々が交流できるような空間づくりをめざします。

河川運動公園については、洪水の度に施設を補修する必要があるため、恒常的に使用できないことから、今後、新たな運動施設等の設置を止め、現在の施設を維持しながらも、長期的には、いこいの場、散策の場として活用していくものとします。

### （３）花を植える文化づくり

勇足の市街地の国道 242 号沿道や本別中学校周辺の停車場通沿いには、多くの花が植えられており、空間が広くみえ、美しく、通る人の目を楽しませ、気持ちを和ませてくれます。

このような活動をさらに拡大し、花を植えることを本別町の文化としてとらえ、町内外の人を楽しませることができるように、人や車の交通量が多い、国道 242 号、停車場通、本別西通、栄橋通、中央橋通等における花のネットワークづくり（花植え）を推進していきます。

本別町都市計画  
マスタープラン

文化・学習活動が盛んな都市

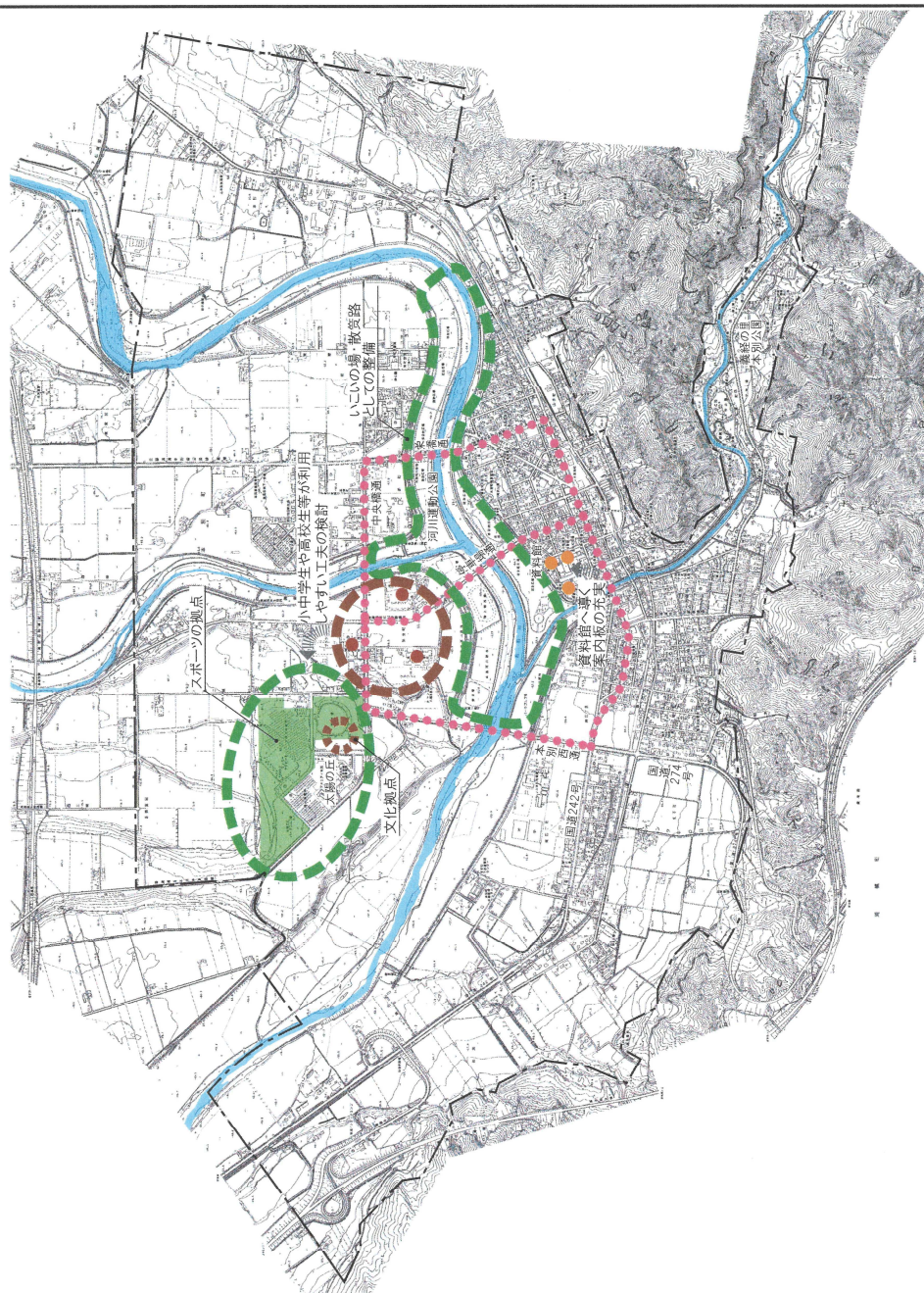
## 凡例

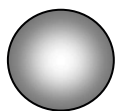


花のネットワークづくり  
(花植え)

## 主な文教施設

主な社会教育施設





### 3. 自然や農村と調和した都市

#### (1) ※景勝地としての特性を活かした義経の里本別公園の整備

義経の里本別公園一帯は、義経山、神居山、本別沢、幽仙峡、本別川等の大自然に囲まれ、※鳥獣保護区にも指定されている自然環境に恵まれた地域です。

公園内にはキャンプ場やパークゴルフ場、展望スポットが整備されているほか、ボート遊びができる池などがあり、町内外の家族連れ等が楽しめる公園として整備されています。

義経の里本別公園については、今後とも現在の自然環境や景勝地としての特性を維持し、活用を図ることによって、町内外の子供から高齢者までが、身近に感じ、楽しむことができるような公園づくりをめざします。

自然石に囲まれたせせらぎ空間の創出やホテルの里の復元等をめざします。また、トイレを整備し、公園利用者の利便性を確保するほか美観の維持にも配慮します。

さらに、公園の建物は歴史的な流れを活かし、例えば、御所風等のデザインでテーマの統一を図るほか、公園周辺においては、自然環境や景観に配慮した適切な土地利用、建物利用の誘導を図ります。

周囲の山や幽仙峡は、森林浴ができるような散策路を充実させるとともに、義経の里本別公園とその一帯の自然を壊すことなく、人々に親しまれる魅力のある“自然・レクリエーション拠点”として位置づけます。

また、義経の里本別公園や周辺の優れた環境、温泉等をより多くの人にPRし、インターチェンジや国道から市街地に入って来た人がスムーズに義経の里本別公園に立寄ってもらえるような案内板等の充実を図ります。

#### (2) 自然のままの河川を活かしたまちづくり

本町は、利別川をはじめ、美里別川、本別川など多くの河川が市街地内を流れていることが特徴となっており、この特徴を活かしたまちづくりを推進します。

美里別川については、昔はプールとして利用していました。また、現在も野鳥、水鳥が訪れ魚も釣れる自然豊かで美しい川として親しまれています。しかし、近年はその美しさが失われつつあることから、自然を壊さないで、自然の楽園として再生させていくことをめざします。

利別川や本別川についても、自然を保全しながら、散策路等を確保するなど自然と親しめる空間づくりをめざします。

---

景勝地 : 景色のすぐれている土地

鳥獣保護区 : 鳥獣の保護繁殖を図るため、鳥獣保護法に基づき鳥獣保護区が設定される。鳥獣の捕獲が禁止されている。



### （３）自然ネットワークの形成






本別町には、義経の里本別公園、本別沢、幽仙峡、義経山、神居山、利別川、美里別川、本別川等の良好な自然資源が市街地内及び市街地周辺に数多く分布しています。

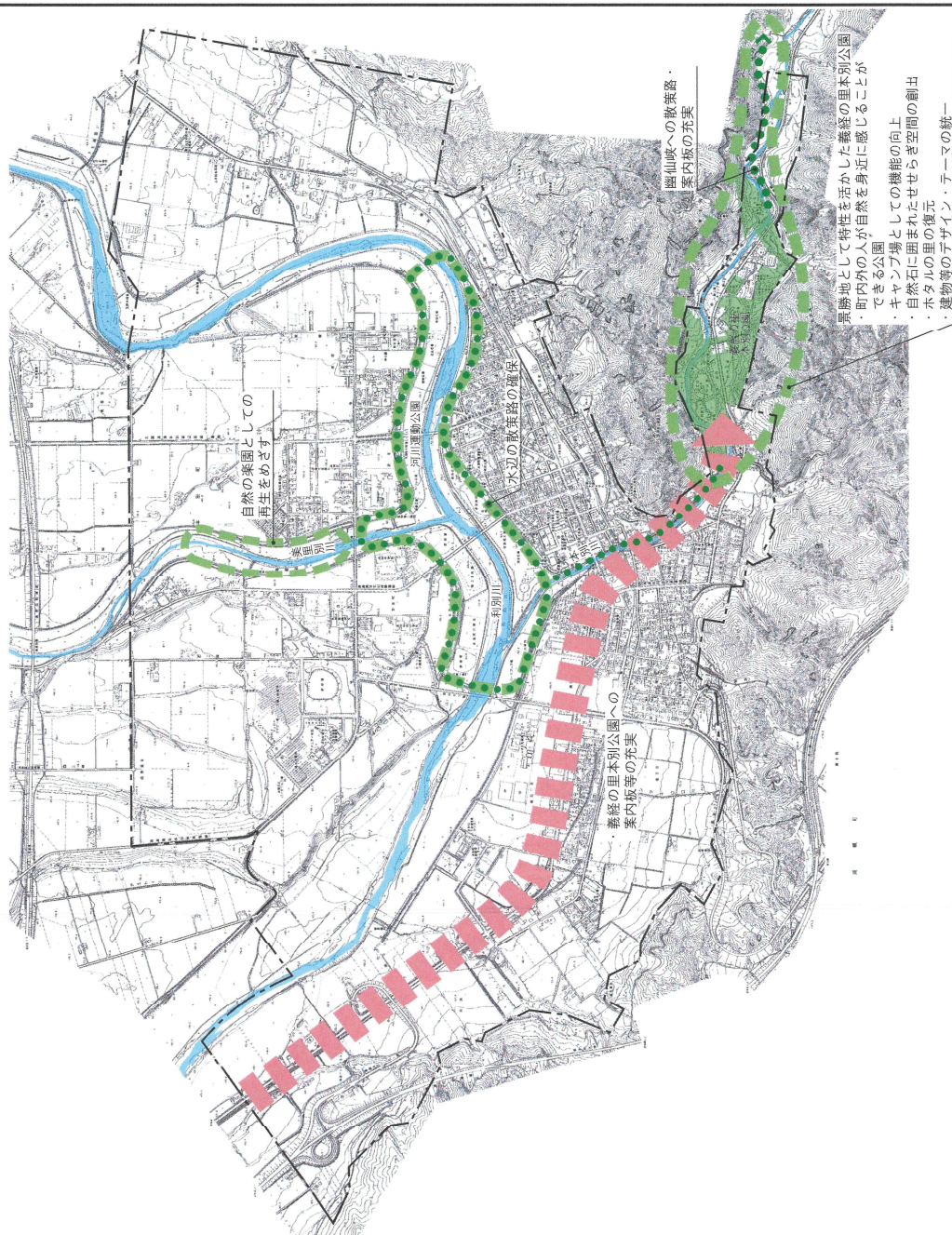
長期的には、利別川、美里別川、本別川の河川敷沿いから義経の里本別公園、本別沢、幽仙峡にかけて散策路等を確保し、義経の里本別公園と義経山、神居山、幽仙峡を連絡する自然のネットワークの形成を図るとともに市街地内においても植樹等を推進し、良好な自然資源が身近に楽しめる空間づくりをめざします。

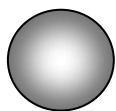
# 本別町都市計画 マスタープラン

自然や農村と  
調和した都市

凡 例

-  都市計画区域
-  散策路
-  主な公園・緑地
-  義経の里本別公園
-  義経の里本別公園への  
主なアクセス路





## 4. 産業を大切にした都市

### (1) 歩いて楽しめる中心市街地の形成

本町は国道 242 号を軸として発達しており、中心市街地は、銀河通りや国道 242 号沿線を中心とした商店街とその周囲の中央公民館、図書館、役場等の公共施設ゾーンから形成されています。

中心市街地における買物客等の行動は、用事のある商店や公共施設の前に駐車し、買物等を終えたら、すぐ帰るという行動パターンになっています。

将来的には、既存の中心市街地を核として、歩いて買物等を楽しみたくするような魅力ある中心商業地区づくりをめざします。

そのためには、既存の商店を活かしながら、本別町としてこだわりのある商店の創出や行けば何かあるという期待を持たせるような仕掛けづくり、イベント等の充実を図ります。

また、植栽、※建築協定などによる景観の向上、バリアフリー化をさらに推進し、中心商業地全体として魅力ある空間となることをめざします。

### (2) 交流人口を増やすためのしかけづくり

義経の里本別公園には、毎年、町外から多くの人々が訪れており、観光的な側面も強くなってきました。今後、さらにより多くの人々を呼び込むとともに、観光、商業、農業との連携を深めることによって、これらの関連産業の活性化に資するものとしていきます。

そのためには、まず観光客等が義経の里本別公園へアクセスしやすくなるような、国道や道道における、案内標識等のデザインの工夫や充実を図るとともに、義経の里本別公園への連絡道路の整備、安全性の確保、さらには魅力ある景観の整備等をめざします。

さらに、義経の里本別公園を訪れた観光客等に対して、中心市街地の特色ある飲食店や食料品店、キャンプ用品店を紹介するインフォメーション機能の充実を図り、中心商店街との密接な連携を推進します。

また、市街地の玄関口に道の駅的な機能を配置し、本別町の主要な観光地やイベント等の案内サービスを行うとともに、特産物の紹介、販売や宿泊及び体験観光の予約等ができるような特色ある交流拠点の形成をめざします。

---

建築協定：土地所有者等の合意により一定の区域を定め、その区域内における建築物の位置、構造、形態、意匠などに関して厳しい基準を定めること

### （３）農林業、自然というイメージに調和した工業地の形成

本別西通より南西側の市街地には、特色ある食品製造業や農業関連施設が立地しているほか、新町には大規模な乳製品工場が立地しています。

これらの工場については、本別町の安定的な雇用機会を創出する上で重要な役割を果たしており、今後とも本別町の重要企業として位置づけ円滑な生産活動の維持を図るとともに、周囲の自然環境や農地等にも配慮した緑豊かな工業地づくりをめざします。

平成 15 年の本別インターチェンジ開通以降、本町の農林業資源を活用した各種製造業が本別町内に進出する気運が高まっています。平成 25 年には、新たに製材工場が、南地区工業団地に建設されました。今後も更なる企業の進出が予定されていることから、本別インターチェンジの周辺地区については、本町の地場産品を資源とした工業地域、及び高速道路の拠点としての物流ゾーンとして位置づけ、本別町の玄関口としての機能もあることから、自然環境や農業に配慮した緑豊かな工業団地の形成をめざします。

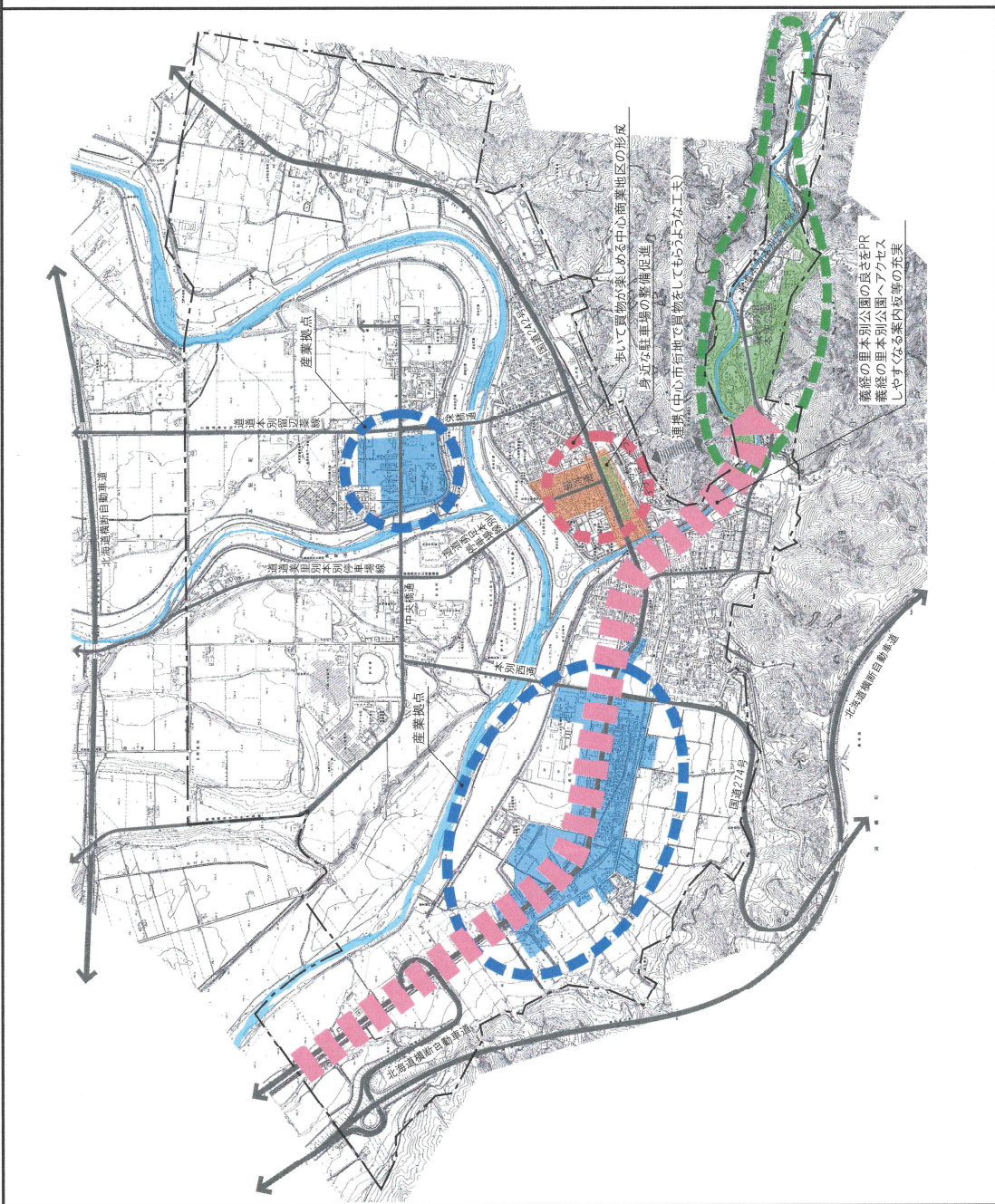
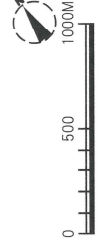


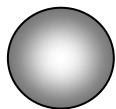
# 本別町都市計画 マスタープラン

産業を大切にした都市

凡 例

- 都市計画区域
- 商業系土地利用
- 中心市街地ゾーン
- 産業ゾーン
- 養蜂の里本別公園への  
主なアクセス路





## 5. 都市づくりと町民活動の融和した都市

### (1) 美しい・夢のあるまちづくり

本別町では、各種の町民活動がさかんに行われています。特に勇足地区や本別中学校の前では、歩道に花が植えられており、当地区を通行する歩行者、ドライバー等に、愉しさや快適さを提供するとともに、まちの重要な景観要素となっています。

将来的には、このような地域住民を主体とする活動等を充実し、銀河通り、国道、本別西通等の主な道路沿線や市街地内のポイントとなる空地等での花壇の整備や花のコンクール等の実施により美しいまちづくりをめざします。

また、町内会単位でのイルミネーション点灯やアイスク্যানドルの設置等を検討することによって、より多くの町民が参加する美しい・夢のあるまちづくりをめざします。

### (2) 生涯学習活動、イベントの充実

本別町においては、きらめきタウンフェスティバル等の自然を活かした特色あるイベント等が実施されています。

また、生涯学習活動として、様々な分野での取組が行なわれています。

このように、町民がまちの中で活動していること自体もまちづくりの重要な要素としてとらえられます。したがって、今後とも、生涯学習活動、文化、イベント等の充実を図ることによってにぎわいのあるまちづくりをめざします。